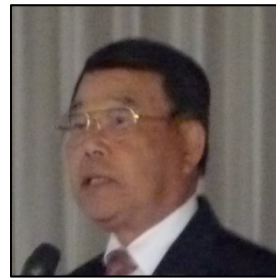


由布市少年補導員防犯パトロール隊（大分県）

皆様、こんにちは。大分県からまいりました由布市少年補導員防犯パトロール隊です。私は隊長の三重野精二と申します。佐藤靖久です。どうぞよろしくお願いいたします。



活動地域の紹介

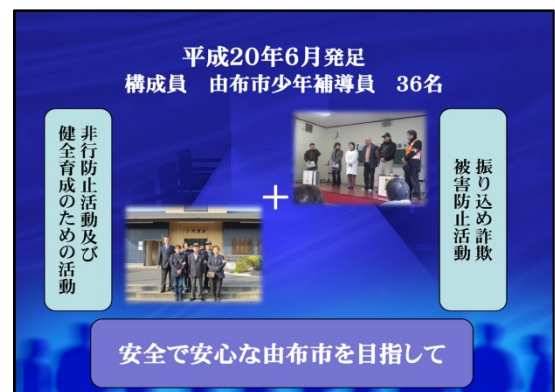
私たちの住む由布市は、大分県のほぼ中央に位置し、北部から南西部にかけて由布岳や黒岳という1,000m級の山々が連なり、由布岳、黒岳のふもとには標高450mの由布盆地が形成されています。人口は約3万6,000人で、約3割が65歳以上の高齢者です。

由布市の気候は、市の大部分が山岳丘陵地域であることから、内陸性の気候が強く、温度差が非常に激しいのが特徴です。由布市は商業地域の挾間町、農業地域の庄内町、観光地域の湯布院町の3町からなり、それぞれの特性に合わせた活動を行っています。

団体の概要

私たちは、由布市少年補導員36名で構成されています。本来の少年補導等の活動に加え、地区の高齢者を振り込め詐欺等から守ることを目的に、平成20年6月に結成しました。このように私たちの活動は、大きく分けて、従来からの少年補導活動と地区の高齢者を守る振り込め詐欺被害防止活動を中心に活動を行っています。

湯布院地区少年補導員では61歳を筆頭に33歳まで12名で活動しています。そのうち女性は2名、平均年齢は52.7歳です。若さと志とバイタリティのある面々です。メンバーは、主婦や自営業者、会社員や僧侶などです。



劇団「HODO」の旗揚げ

まずは結成の経緯からお話いたします。平成22年6月に県警主催の防犯パトロール隊研修会で振り込め詐欺被害防止の模範演技が披露され、県内各地区においても寸劇による啓発活動をしてほしいとの依頼がありました。当時も今も高齢者をねらう振り込め詐欺が社会問題となっていますが、どうして少年補導員が振り込め詐欺の寸劇をするのかと思ったのが率直な気持ちでした。早速直後の定例会で提案をしましたところ、若さと行動力のあるメンバーです。すかさず「おもしろそうやからやろう」、その一言が口火となり「上演先はどこか」、「披露先がないと練習してもな」、「高齢者が集まる老人会とか敬

老会で披露したら」等々、やる気に満ちた発言が相次ぎました。

そこで早速上演先探しです。実は3カ月かかりました。10月18日のいきいき健康サロン、これは地元社会福祉協議会の保健師や、社協職員が地域に出向き、65歳以上の高齢者を対象に血圧測定や健康講話をするもので、およそ20～40人が集まる会でしたが、そこから声がかかりました。1カ月後の上演に向け、満を持して9月6日、劇団「HODO」を旗揚げしました。劇団員は、補導員のほか、地元幹部交番の所長、市役所の職員で構成されています。交番所長には、湯布院での思い出づくりをしましょうと誘い、市役所の職員には、官民一体でやることに意義があると言って仲間に引き込みました。警察と行政と一体になって劇を披露しています。



これは上演風景の一コマですが、現在までに延べ18回、町内、自治区内でのいきいき健康サロンや、



お寺の本堂で上演しました。高齢者や詐欺師、ニセ警官に扮して、手口を披露しているところです。寸劇の内容は、息子や警察官を語り、借金返済名目で金銭をだまし取るオレオレ詐欺を始めとした振り込め詐欺の手口を、方言を使っておもしろおかしく演じています。「風邪をひいて声が変わった」「携帯電話の番号が変わった」「お金をお返しします」などのキーワードを高齢者の方にわかりやすい内容で伝えることを心掛けています。再度呼びがかかったところに

は、同じネタというわけにもいきません。そこで還付金詐欺、未公開株や投資といったシナリオも準備しています。

登場人物は、だまし役が2人、被害者役が1～2人、ナレーター1人のだいたい5人くらいで行っています。上演は平日の午前中が多く、仕事の都合をつける必要がありますから、無理のない範囲で活動してもらっています。はまり役もありますが、みんながどの役でもできるようにしています。上演時間はだいたい15～20分です。

これは補導員さんのお寺での一コマです。門徒さんが集まってくれました。このときはテレビ局が取材に来て、今年3月3日、ついにテレビ出演を果たしました。はじめのころは表情も硬く、見る側も不安げでした。それがいまでは声色を使い分け、表情も豊かになり、アドリブも飛び交うようになりました。場数を踏み、度胸がついたからでしょう。自分たちが演じることが楽しくなるにつれ、高齢者の皆さんの笑いやうなずきが多く見られるようになりました。寸劇に使う小道具のかつらや衣装は、自前や自分たちで作成

したものです。また寸劇以外の活動として、年金支給日である偶数月の15日に金融機関の玄関先やATM周辺での広報啓発のチラシ配布や毎月第3金曜日、青色回転灯装備車両による振り込め詐欺被害防止の広報啓発活動も行っています。

こうした活動が功を奏しているかよくわかりませんが、スライドにありますように平成21年度中に由布市内で発生した2件の振り込め詐欺が、平成22年度中は1件、平成23年度中も1件と、被害が徐々にではありますが減少しています。何よりも寸劇を見た人が、だれ一人として被害に遭っていないということが大きな喜びであり、やりがいを感じています。また上演後には自己紹介をし、顔と補導員であることを覚えてもらっています。おかげで街でも声をかけられるようになりました。

少年補導員として、今後も地域に住む子どもの安全確保や健全育成のみならず、高齢者が振り込め詐欺の被害に遭わないよう、安心して暮らせるまちづくりを地域の仲間とともに目指して、広報啓発活動に取り組んでいきたいと思います。



少年補導員の活動

続きまして庄内地域における青少年の非行防止および健全育成のための活動について報告いたします。庄内地区少年補導員のモットーは、「笑顔、挨拶、身だしなみ」です。これは由布市庄内町にある県立由布高校の生徒指導のモットーであり、同じテーマで取り組んでいます。実は由布高校は5年前、大分県教育委員会より廃校の宣告を受けました。そのわけは、隣接する大分市には公私立の高校が多く、通学時間も30～40分でできる距離にあり、多くの生徒が大分市内の学校に流れた結果です。由布市唯一の高校を守れと全市を挙げて存続活動を実施した結果、今後由布市内の中学校より定員の3分の2の生徒を確保する条件つきで廃校を免れました。

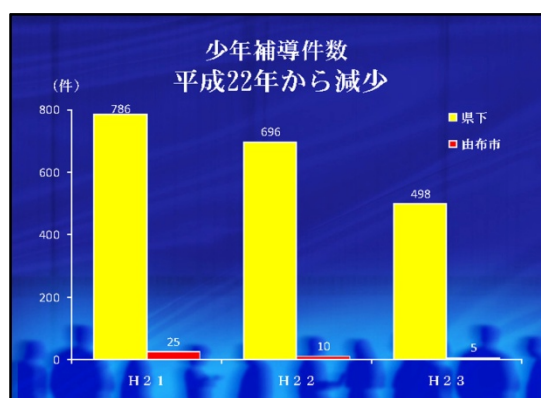
二度とこのようなことにならないようにと、普通科課程であった中身を国公立大学進学重点コース、総合進学コース、観光コース、情報ビジネスコースなどを設け、進学や就職に万全を期した学校に生まれ変わりました。現在では生徒数も倍になり、生徒たちも頑張っています。私たちはどんな協力ができるかを考え、行きたい、行かせたい学校にすることを目標に、マナー大分県一の学校を目指して、次の

ような活動をしています。

主な活動は、活動区域内の学生の多くが電車通学をしていることに着目し、登校時間帯の午前7時半から8時10分に合わせ、JR 小野屋駅前において挨拶運動を毎週月曜日に行っています。また下校時には、利用頻度の高い JR 小野屋駅を中心として東は大分駅、西は由布院駅の区間に乗車し、電車内での列車補導を毎月2回実施しています。

このほかにも地区の公園やコンビニエンスストアなどでの補導活動を夜間定期的に行っているほか、由布市主催の神楽祭りや地区の伝統行事など、各種イベントでの挨拶運動や補導活動にも積極的に取り組んでいます。

さらに、由布市が保有する青色回転灯装備車両を利用して、月に5～6回、下校時における子ども見守りのパトロールも行っています。スライドにありますように、由布市内における少年補導件数は年々減少しています。平成21年当時、25件であった補導件数が、昨年は5件と減少しています。



今後の課題と取組

今後の課題の一つとして新規隊員の獲得と後継者の育成が挙げられます。本来の補導活動と振り込め詐欺防止等を始めとした新たな防犯活動を開始したことで活動範囲が広がり、団体の活性化が図られたと思っています。しかしながら一方で隊員の高齢化が進み、補導員を退任する者が多く出ています。その補充に地区の若い者に声をかけるのですが、なかなか集まらず、後継者不足と若い隊員の育成が大きな課題と思っています。

このような状況にありますが、子どもの健全育成につながる大事なことであります。今後とも一生懸命頑張っていきたいと考えています。

質疑応答

●質問 今回、寸劇を始めたきっかけが、大分県警察からの協力のおかげだったということです。いまではアドリブも出てということで役者、役者しておられるようですが、どのようにして寸劇を学んでおられるのでしょうか、ご披露いただければと思います。

○回答 寸劇と言いましても、電話を前にしてだまし役とだまされ役で、手元に原稿があり、空で全部せりふを覚えなければならないということではありません。そうした中で、やはり場数と言いますか、それぞれが経験を通して劇を学んでいるという状況です。

●質問 このように具体的に活動しておられると、その活動自体がボランティア活動をやっておられる

方々の励みになっているような、そのようなやる気、意識、そういった意味での変化はいかがですか。

○回答 県警からご紹介があつて、どうしようかということで会に諮りました。ちょうど少年補導も街頭補導、地域の健全育成、イベントの際の出動など、ほぼマンネリ化というか、固定化したところがありましたので、そうした中で新たな取組として提案しました。先ほどの説明ではありませんが、ノリのいい面々ですので、それはやろうということで一気に火が付いたということです。